

みんな、どんば!

第 16 号 平成 29 年 8 月 1 日発行



夏休みを計画的に過ごしましょう。

夏休みに入って 10 日余りが経ちますが、皆さん元気でお過ごしでしょうか。今は二十四節気の「大暑」を過ぎ、暑さのまっさかりです。熱中症には十分注意しましょう。

さて、今、インターンシップに参加している人も多いかと思いますが、3年生は、会社見学に行っています。原則として、一人2社を見学することになっています。その中から最終的に1社に絞るわけです。1年後にはみなさんが就職活動をするようになります。今のうちから、自分をPRできるようにたくさんの体験をしておきたいものです。

上級学校に進む人は、夏休み中にできるだけ2年生向けのオープンキャンパスに行っておきましょう。3年生の春までに、希望する上級学校を2～3校に絞っておきたいものです。そのための時間があるのはこの夏と2年の終わりの春ということになります。

夏休みの目標や計画は立ててありますか。まだという人はぜひ立てて、計画的に過ごしてほしいものです。毎日細かな計画はなくても、せつかく長い時間を自由に使えるのですから、有効に使いたいものです。

最後に、気を付けてほしいことですが、交通安全と海や川での安全、街でのトラブル防止です。自転車の事故が多いことは、終業式でも伝えましたが、交差点での一時停止は必ず守り、イヤホンを付けての自転車運転は控えてほしいものです。また、海や川でのレジャーは十分気を付けてください。くれぐれも遊泳禁止の場所では泳がないこと。また、街ではささいなことからトラブルに巻き込まれないように気をつけましょう。

では、2学期の始業式で、全員が揃って再会しましょう。

2学期の始まり・・・8月28日(月)8:30登校

①大掃除②始業式③LHR④授業⑤授業⑥避難訓練
お弁当持ちです。

パトパス ～先生からの一言 その16

「暑中お見舞い申し上げます。」夏は暑いもの、涼しすぎるのもそれはそれで寂しいものです。

二年生の夏休みは人生の中で一番楽しい時です。また、恋愛や勉強、人間関係などの悩みの多い時期でもあります。自分の行動に責任を持って、大いに思春期の青春を楽しんでもらいたいと思います。いま、北海道まで自転車で冒険旅行に行っている男子がいます。なかなか真似が出来ない凄いことだと思います、個人的にも応援したいです。

さて、早いもので来年の今頃には進路決定で大忙しになります。今から自分の進みたい進路を考えておいて下さい。一学期の成績が思わしくなかった人は是非とも2学期は頑張ってください。これからは友人もライバルになります、友達を大切に思いながら自分のやるべきことをしっかり考えて残りの生活を送ってもらいたいと思います。

(D組担任)

◎ 1学期を振り返って

- ・クラス替えで、また新しい友だちもできたことはすごく嬉しかったです。新しいクラスでの行事は新しいことだらけで、何もかもが新鮮でした。テストは1年の頃よりも科目が増えたので、勉強は大変になったけれど、余り点数が落ちることはなかったので、この調子で頑張っていきたいです。
(A組 女子)
- ・もう2年生の3分の1が終わってしまったという感じです。とにかくこの夏にいろいろと動き、進路であっても部活であっても少し変われたらいいと思います。(A組 男子)
- ・1学期は部活のことに一生懸命で、お守りづくりなどに集中していたので、クラスの子と話す時間が余り取れなかったので、2学期からはクラスの子とたくさん話したいと思います。一人の友だちとずっと話すのではなく、たくさんの人と話そうにしたいです。2学期には修学旅行もあるので、それを通してクラスの子と仲良くなりたと思っています。
(A組 女子)
- ・自分が一番印象に残っているのは、今一緒に部活をやっている後輩が入ってきたことです。自分は多分入らないだろうなあと思っていたのに、選手2人(経験者)が入ってきたので、驚いたと同時に嬉しさが込み上げてきました。とても礼儀正しく、とてもよい後輩です。これからも一緒に頑張りたいと思いました。
(B組 男子)
- ・高校1年生の頃は野菜のことも何もわからず、2、3年生の先輩に頼りっぱなしでしたが、今2年生になって逆に教える立場になってしまって、何を教えたらいいか分からなかったのですが、1年生の時に先輩方が教えてくれたことを思い出して、適切に教えてあげることができました。これから先輩として頑張っていこうと思います。(B組 男子)
- ・夏休みの入る前にいっぱい就職の話とか大学、専門学校の話聞いて、高校生でいられるのもあと少しなんだと少し実感と焦りが出た1学期だった。今までテストとか適当に流していたけれど、2学期から真面目に勉強してテスト一週間前にはバイト先に休みをもらえるようにしようと思った。
(B組 女子)
- ・クラスのメンバー、授業内容が変わり、不安な気持ちのまま始まった。が、時間が経つにつれ、授業に慣れることができた。実習のレポートも計画的に取り組むことができ、全て期限内に済ませることができた。また、新しいことにも挑戦できた。プロジェクト発表である。農業高校生としてのイベントに参加できたので、達成感を味わえた。ここまで長く書いてしまったが、新しい生活環境に慣れた、新しいことに挑戦できた1学期だったと僕は思う。
(C組 男子)
- ・1学期は体育祭があって、クラスが団結できて、良かったです。テストの点数も去年よりも上がったので、ここままたがっていききたいと思います。進路も決めようと思いました。
(C組 女子)
- ・どんなことでも諦めなければ勝機があることです。体育祭の竹取競技で2対多数の状態になって、どんどん引っ張られていたが、諦めずに粘り続けた結果、勝つことができました。
(C組 男子)
- ・1学期を振り返ってみると、たった数カ月の間だけでいくつかの思い出ができました。新しいクラス、遠足、体育祭等などの思い出です。どの出来事も大きな問題がなく終わることができたし、2学期はどんなことがあるのが楽しみです。しかし楽しむことだけを考えるのではなく、進路のこともしっかり考えていきたいと思いました。(D組 女子)

- ・2年になってからあまりなじめなくて、学校に行くのが面倒だと思いう日が続いていたけど、体育祭でのダンス練習や競技練習のおかげで、クラスのみなどの壁がなくなったり、その中でも特に気の合う楽しい友だちができたり……。今はとても学校へ行くのが楽しいと思えるようになりました。また、学校生活内だけでなく、放課後や休日も充実していました。これから過ごす日常も学校イベントもとても楽しみです。(D組 女子)
- ・最初はあまり楽しくなくて、友だちもなかなかできなくて、つまらないと思っていたけど、体育祭の練習で、仲の良い友だちもできて、学校も少しずつ楽しくなって、毎日学校へ来ることができるようになりました。徐々にクラスにも馴染めて、今はとても楽しくて、毎日笑い過ぎて、こんなに幸せでいいのかというレベルです。修学旅行がとてつもなく楽しみです。始業式の時、「早く卒業したい」と思っていました、今は「卒業したくない」という気持ちがとても多いです。I`m very happy ♪ (D組 女子)
- ・2年生になって思ったことは1年の時よりも授業量が増え、進路についても真剣に考えないといけなくて大変だなあと思いました。テストも点数を落とせないでバイトとの両立ができるかどうかとても不安な1学期でした。2学期からは自分の将来に向けて勉強などをもっと頑張ろうと思います。(E組 男子)
- ・今年から農クに入り、何度か活動をしてきました。その中でいつも周りに気を遣わせてしまい、自ら積極的に動いていませんでした。せっかく入ったのにこのままではいけないとわかっていても、なかなか行動にうつせずついていきます。これからまた活動が増えてくるので少しでも後悔しないよう行動したいです。(E組 男子)
- ・授業内容が少し入れ替わったりした。畑の授業が多く減り少し寂しく感じられたが、新しく食品製造やラッピングなどが入り、新鮮な気持ちで学ぶことができた。今年の体育祭は検定練習とかぶり、放課後練習に行けず、ダンスは個人的に満足に踊れなかった。しかし自分が参加した綱引きでは1位を取れたためうれしかった。しかしやるならやはり完璧にしたいので、来年の体育祭はしっかり参加したいと思う。残りの二学期、三学期もイベント事やテストなどたくさん残っているので、しっかり取り組みたいと思う。(E組 女子)

◎北海道修学旅行に向けて その3 ～樺太・千島の最期～

日本で、住民を巻き込んだ地上戦が行われたのは沖縄だけだと言われますが、当時千島列島や樺太（今のサハリン）も日本でした。1945年8月9日にソ連が日ソ中立条約を一方向的に破棄し、終戦後も日本の領土を攻めてきました。8月20日には樺太西海岸の真岡町をソ連艦隊が艦砲射撃を開始しました。真岡町には郵便局の電話交換手の日本人女性9名がいましたが、彼女らは本土からの鳴り止まない電話に應對し、最後まで通信連絡を取り続け、若い命を散らしました。最後に残った一本の回線からは「みなさん、これが最後です。さようなら、さようなら…」という声があったそうです。千島列島の占守島（せんしゅとう）でも同時期に戦闘があり、それを遡る1942年にはさらに北のアリューシャン列島のアツツ島で玉砕がありました。樺太や千島にいた多くの兵士や住民は北海道出身者でありました。樺太を臨む稚内には電話交換手の少女像があり、札幌の護国神社にはアツツ島の玉砕の碑があります。このような歴史が後に、今の北方領土の国後島があるのです。なお、電話交換手の女性たちの話は、1974年に「氷雪の門」という映画になりましたが、ソ連大使館の抗議により、上映中止になった経緯があります。それから36年後の2010年に再上映されました。